

## ～ 今月の図書案内 ～

田無工祭が終わり、涼しくなってきましたね。今年は夏が多かったので、気温の変化に体がついていけない人がいるかもしれません。疲れている時には、家でゆっくり読書をしてみてはいかがでしょうか。

### ★今月の新着おすすめ本

#### 「アニメと漫画と楽しい仲間」 鈴木 伸一

「ドラえもん」などに登場するラーメン好きの「小池さん」のモデルになった、元漫画家でアニメーターのエッセイです。お世話になった人々のエピソードや、トキワ荘の仲間たちと設立したアニメーション制作会社の笑える話など、興味深い内容となっています。著者の温かみのある人柄が感じられ、アニメに関心のない人にもおすすめです。

#### 「これで死ぬ」 羽根田 治

タイトルにビックリだが「まさか、こんなことで死ぬなんて…」というアウトドアでの事故や危険な事例を紹介。私たちがアウトドアで死んでしまう要因は様々。でも、死の危険を知っていれば、避けられる可能性が高くなる。大自然の中で遊ぶ前に、自分はもちろん大切な人の命を守るため、最低限知っておきたい安全対策読本。

#### 「日本一東京 50の意外な地理・歴史」 吹浦 忠正

日本や東京に関する知識をクイズ形式で出題。日本で唯一砂漠のあるところはどこ？ 日本人で初めてパスポートを取得した人の職業はなに？ 衆議院で女性議員の割合は何%か？ など大人でも知らないことが多く、解説を読むと思わず感心してしまいます。1問2ページで完結しているので気軽に読め、楽しみながら学ぶことができます。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館時間 8:35～16:45 (色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります)

### ★図書館からのおすすめ本

#### 「幸せの条件」 菅田 哲也

東京で事務員をしていた梢恵が、単身長野に赴き、なりゆきで農業見習いすることに…初めは農業の大変さに苦勞するが、次第にその素晴らしさに気づき、多くの出会いによって、恋も仕事も中途半端だった彼女を変えてゆく。人に必要とされるのではなく、自分が必要とする生き方を見つけた主人公を見ていると、前向きに生きる元気をもらえる一冊。

#### 「サーチライトと誘蛾灯」 櫻田 智也

第10回ミステリーズ！新人賞を受賞した表題作を始め、昆虫マニアの青年が遭遇する数々の事件を描いた連作短編集。とぼけた会話をくり広げる主人公が、昆虫からヒントを得て真実にたどり着く、意外な切れ者ぶりに驚かされます。また、どの作品でも人間の情念が事件につながっており、深い余韻を残す話ばかりです。

#### 「図書館のお夜食」 原田 ひ香

樋口乙葉はSNSで知った、夜7時から深夜12時まで開館する「夜の図書館」で働くことになる。そこは、亡くなった作家の蔵書が集められた、いわば本の博物館のような図書館だった。まかないとして、昔の作家にちなんだ美味しい料理が食べられる。オーナーをはじめ図書館員たちの秘密、利用者の行動とか謎だらけで、不思議な気分を味わえる。